

1 実施方向

学校関係者評価委員会（学校評議員会）に、自己評価の結果を資料として示し、本校の自己評価が適切に行われているかどうか、また、教育活動全般における取組が適切かどうか等について評価を受けた。

2 実施日時

2月16日（水）

3 学校関係者評価の結果（所見および指導助言）

- （１） 重点取組の中に「計画的にキャリア教育に取り組む」ように計画されているが、一人ひとりの生徒が自分にふさわしいキャリアを形成していくために、ぜひ、このことをあらゆる場面で具体的にがんばっていただきたい。
- （２） コロナ禍の中、また、大学入試制度改革が行われる中、大学合格者が昨年度より増加しているのは、先生方の共通テスト対策がきちんとなされていたからだと思う。今年度も3年間の進路指導の計画が綿密に立てられているので期待している。
- （３） 高校生の進路指導というのは、将来へ直接つながっていくものだと思っている。確かに上位の国立大学への合格率というのも大切かもしれないが、子ども達が何をしたいのか、どういう道に進みたいのかということを、じっくり話を聞いていただきたい。
- （４） 社会規範やマナー等を身につけておくことは、人としてとても大切なことだと思う。大変だろうが頑張ってください。
- （５） 昨今、パワハラや体罰などという言葉が多く出回り、先生方も指導に苦労をされていることと思う。確かに体罰や、行きすぎた暴言は言語道断であるが、愛情に裏打ちされた厳しさは必要だと思う。どうか、優しさだけではなく凜とした愛情のある厳しさで、子ども達を導いてほしい。
- （６） 他校と比較して「歩きスマホ」をしている生徒を見かけない。生徒指導を徹底されているのだろうと感心している。また、ほとんどの生徒が登下校中に挨拶をしてくれます。
- （７） 毎月出されている「生徒指導便り」の指導内容の細やかさ、すばらしさに感心して目を通した。是非、この指導内容を家庭で、親子の話し合いの話題として取り上げてほしい。
- （８） 高校生はコロナがない普通の時でも本当にいろんな事で悩んでいると思う。しかし、小さな子のように表面に出ることはそうそうないため、子ども達の表情やちょっとした言動にも気を付けていただきたい。
- （９） SSH事業に興味を持ち、貴校を志願する生徒も多いと思う。
- （１０） SSHについては、これからの生徒にとって魅力的な取組だと思うので、さらに力を入れていただければと思います。
- （１１） コロナ禍の限られた練習時間にもかかわらず、各部、様々な大会で実績をあげられ、学習と部活動の両立がなされていると思う。

- (12) 一人一台のタブレット導入で学習方法の幅が広がるとともに、その成果も評価されていて良かったが、その効果的な活用法を教師がさらに研究していかなければならないので、大変であると感じた。
- (13) 生徒たちは、学校行事を通して自分の果たすべき役割を自覚したり、積極的に役割を果たそうとする力を身に付けていったりすると思うので、コロナ禍の中ではあるが、行事を取捨選択したり、規模・開催時期を検討して実施してほしい。
- (14) 保護者アンケートにおいて、長崎南高校に入学させて良かった、という項目の数値が一番良かった。これは、先生方の日頃の努力が評価されたものと思う。1年間お疲れ様でした。
- (15) 一昨年前、「高校の普通科改革」という新聞記事を見たが、南高においては、キャリア特進コースが新設されたり、MST、SSH など、先生方が工夫されて新しい取組をされたりしていることがよく分かる。南校の特色ある活動を求めて、たくさんの生徒が集まってきてくれることを期待している。
- (16) 本校からは毎年多くの生徒が南高進学を希望しています。先輩たちが活躍してくれている証だと思います。
- (17) 成人年齢が引き下げられることを考慮して、自己を活かせる生き方や進路を考える力を育てたり、社会規範やマナー等を習得させたりするなど、キャリア教育の充実を学校教育全体でさらに図っていく必要があると思う。

以上の指摘を受け、以下の確認・対応を行った。

- I (1)(2)(3)各学年、進路学習を通して将来の進路選択に対する視野を広げさせる取組を行うとともに、SSH 事業で開発した M-STEP ノートを活用して、本校独自のポートフォリオを作成している。
- II (4)(5)(6)(7)(8)校内外で問題事案が発生した場合、即座に対応に当たるとともに、マナー等の事案に関しては全校生徒に問題提起し、改善すべき点について生徒自身に考えさせるようにしている。また、生徒指導便りについては、毎月本校のホームページにも掲載している。
- III (9)(10)次年度で第2期が終了する。第1期からこれまでの10年間の総括を行うとともに、第3期に向けた計画の検討を始めている。
- IV (11)今年度は陸上個人、射撃団体で日本一に輝いたことを筆頭に、多くの部活動が上位大会で活躍した。コロナ禍で練習時間の制限がある中で結果を残せたことは、今後の練習方法のヒントにもなり得る。今後は、適度な休みを入れながら質の高い練習方法についても研究を重ねていく必要があると考えている。
- V (12)一人一台端末の本格的な導入に伴い、連絡や課題の配付のみならず、オンライン授業やオンデマンド授業も実施した。今後は、作成した教材等を教科内で共有していく工夫も検討していく。
- VI (13)文化祭や体育祭は無観客で実施した。3密を避けるため例年通りの実施はできない状況であるが、YouTube を活用したライブ配信などで補うことができた。実施形態の変更など、工夫して実施することができた。
- VII (14)(15)(16)(17)働き方改革の取組や南高の魅力づくりとしてのカリキュラム編成、成年年齢引き下げに伴う対応等、本校にとって喫緊の課題であり、検討を進めている。